

平成24年度一般会計決算

○決算の概要

平成24年度一般会計の歳入総額及び歳出総額は、予算現額3,782,749千円に対し、歳入総額3,814,448千円、歳出総額3,305,153千円となり歳入歳出差引額（形式収支）は509,295千円（対前年度74,836千円・17.2%増）となりました。

また、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんでしたので、実質収支は509,295千円（対前年度78,231千円・18.1%増）となりました。

単年度収支は78,231千円（対前年度△518千円・△0.7%減）となりました。

○歳入決算概要

歳入決算は、3,814,448千円（対前年度124,012千円・3.4%増）となり、構成市からの分担金2,823,025千円（対前年度△164,137千円・△5.5%減）が歳入決算の74.00%を占めています。

分担金は、次期し尿処理施設建設事業に伴い建設費分担金は13,574千円（対前年度11,108千円・450.4%増）となりましたが、運営費分担金が2,779,451千円と減少（対前年度△175,245千円・△5.9%減）したため全体として減少となりました。

歳入決算の8.95%を占める事業系廃棄物処理手数料については、搬入量が前年度に対し164.51トン増量（対前年度1.22%増）したことに伴い341,404千円（対前年度4,112千円・1.2%増）となり、22年度から3年続けて増となりました。

歳入決算の11.39%を占める繰越金434,459千円（対前年度75,853千円・21.2%増）の内訳としては、純繰越金431,064千円（対前年度78,749千円・22.4%増）、事故繰越（事業名（仮称）汚泥再生処理センター生活環境影響調査業務）3,395千円（対前年度3,238千円・2,062.4%増）となりました。

なお、本年度において継続費繰越はなく、対前年度△6,134千円（皆減）しています。

その他の歳入について、国庫支出金114,463千円（対前年度113,002千円・7,734.6%増）は、本年度の特色である、次期し尿処理施設建設事業に伴い国庫補助金（厚木飛行場周辺し尿処理施設設置助成事業・防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条に基づく防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）102,900千円（対前年度、皆増）となりました。

施設更新計画に伴う循環型社会形成推進交付金11,563千円（対前年度10,102千円・691.4%増）は事業本格化により増額となりました。

また、同じく、次期し尿処理施設建設事業に伴い県支出金（神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金）14,300千円（対前年度、皆増）及び組合債84,900千円（対前年度、皆増）となりました。

（単位：千円）

	24年度 (a)	23年度 (b)	年 度 比 較 (a) - (b)	対 前 年 度 伸 率
歳 入 総 額 (A)	3,814,448	3,690,436	124,012	3.4%
歳 出 総 額 (B)	3,305,153	3,255,977	49,176	1.5%
差 引 額 (A) - (B) (C)	509,295	434,459	74,836	17.2%
翌年度へ繰越すべき財源(D)	0	3,395	△ 3,395	△ 100.0%
実 質 収 支 (C) - (D) (E)	509,295	431,064	78,231	18.1%
単 年 度 収 支 (F)	78,231	78,749	△ 518	△ 0.7%
繰 上 償 還 額 (G)	0	0	0	—
実 質 単 年 度 収 支 (F) + (G)	78,231	78,749	△ 518	△ 0.7%

○歳出決算概要

歳出決算は3,305,153千円（対前年度49,176千円・1.5%増）となりました。

特徴としては、次期し尿処理施設建設事業に掛かる経費に重点を置いた他、例年同様、一般廃棄物処理に掛かる経費及び周辺環境への影響を監視する各種分析業務に掛かる経費等、施設を安全に安定的に稼働させる施設修繕等、施設を運営する管理経費が大きく占めています。

歳出を目的別に考察すると、総務費は372,192千円（対前年度20,578千円・5.9%増）となりました。主なものとして一般管理費では、総務課職員等の人件費171,681千円、最終処分場等の借地料34,139千円、構成市等への交付金96,453千円、財政管理費については、事務棟清掃等に伴う委託料18,151千円、企画費については、施設更新に伴う調査・計画費に伴う委託料28,687千円となりました。総務費が増加した要因は、人件費の他、施設更新に伴う調査・計画費及び事務棟空調機補修によるものです。

民生費、社会福祉施設費は26,223千円（対前年度759千円・3.0%増）で、主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料20,034千円及び本郷老人福祉センター空調機補修4,725千円です。

衛生費は2,535,285千円（対前年度28,757千円・1.1%増）で、主なものは清掃総務費が施設課職員等の人件費613,860千円、処理施設の光熱水費122,713千円、塵芥処理費は焼却灰・可燃物処理に伴う一般廃棄物処理515,078千円、廃乾電池等処理に伴う処理困難物処分31,809千円、ごみ処理施設修繕料820,096千円、し尿処理費は、し尿処理施設の運転管理委託料29,400千円、し尿処理施設修繕料20,370千円です。

また、本年度から予算措置をした、し尿処理施設建設費208,073千円については、次期し尿処理施設建設事業に伴うものです。

教育費、体育施設費は118,088千円（対前年度△911千円・△0.8%減）となり、指定管理料98,028千円のほか定期修繕16,453千円、流水プール及び幼児用プール塗装工事3,307千円が主なものです。

公債費は252,253千円（対前年度、増減なし）となり、既借入れ7件の起債の元利償還金です。

なお、平成24年度をもって、平成4年度借入れ屋内温水プール建設事業2件（国1件、県1件）及び平成14年度借入れ焼却灰等積替え保管施設建設工事業1件の計3件は償還完了しました。

歳 入 款	△印 減額(単位：千円)				
	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳入決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 分担金及び負担金	2,848,230	△ 25,205	2,823,025	2,823,025	100.0%
2. 使用料及び手数料	311,077	0	311,077	342,004	109.9%
3. 国庫支出金	116,676	△ 2,213	114,463	114,463	100.0%
4. 県支出金	5,395	8,605	14,000	14,300	102.1%
5. 繰越金	253,395	181,064	434,459	434,459	100.0%
6. 諸収入	825	0	825	1,297	157.2%
7. 組合債	101,507	△ 16,607	84,900	84,900	100.0%
歳 入 合 計	3,637,105	145,644	3,782,749	3,814,448	100.8%

歳 出 款	△印 減額(単位：千円)				
	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳出決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 議会費	1,325	0	1,325	1,112	83.9%
2. 総務費	425,073	△ 12,736	412,337	372,192	90.3%
3. 民生費	30,006	0	30,006	26,223	87.4%
4. 衛生費	2,793,699	△ 18,900	2,774,799	2,535,285	91.4%
5. 教育費	124,747	0	124,747	118,088	94.7%
6. 公債費	252,255	0	252,255	252,253	100.0%
7. 予備費	10,000	177,280	187,280	0	0.0%
歳 出 合 計	3,637,105	145,644	3,782,749	3,305,153	87.4%

決算収支(過去5年間)

(単位：千円)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
歳 入	4,362,579	3,650,596	3,649,675	3,690,436	3,814,448
1. 分担金及び負担金	3,051,277	3,050,393	3,029,592	2,987,162	2,823,025
2. 使用料及び手数料	322,289	297,117	315,668	337,947	342,004
3. 国庫支出金	0	125	2,190	1,461	114,463
4. 都道府県支出金	0	0	0	0	14,300
5. 財産収入	0	0	0	0	0
6. 繰越金	297,340	233,565	296,253	358,606	434,459
7. 諸収入	59,773	2,496	5,972	5,260	1,297
8. 組合債	631,900	66,900	0	0	84,900
歳 出	4,129,014	3,354,343	3,291,069	3,255,977	3,305,153
1. 人件費	856,436	855,987	832,491	827,351	786,883
2. 扶助費	0	0	7,193	7,725	6,810
3. 物件費	1,119,586	1,017,574	1,090,779	1,111,222	1,076,802
4. 維持補修費	863,600	997,951	984,482	935,612	867,339
5. 補助費等	71,040	74,182	106,626	102,904	101,570
6. 普通建設事業費	933,937	92,966	7,570	365	213,496
7. 災害復旧事業費	0	0	9,708	18,545	0
8. 公債費	284,415	315,683	252,220	252,253	252,253

歳出を性質別に考察すると、義務的経費は1,045,946千円(対前年度△41,383千円・△3.8%減)となりました。

主なものでは、人件費が786,883千円(対前年度△40,468千円・△4.9%減)であり、退職に伴い減少しています。なお、人件費は近年減少傾向が続いています。

扶助費6,810千円(対前年度△915千円・△11.8%減)及び公債費252,253千円(対前年度増減なし)については例年並みで推移しています。

投資的経費は213,496千円(対前年度194,586千円・1,029.0%増)は、今年度の特色である次期し尿処理施設建設事業が主なものと全額普通建設事業費となり、災害復旧事業費はありません。

普通建設事業費は次期し尿処理施設建設事業207,627千円のほか旧最終処分場フェンス設置工事2,562千円、流水プール及び子供・幼児用プール塗装改修工事3,307千円です。

その他としましては、物件費1,076,802千円(対前年度△34,420千円・△3.1%減)となり、主なものでは、焼却灰等の溶融に掛かる一般廃棄物処理経費515,078千円(対前年度△9,941千円・△1.9%減)、廃乾電池等の処理困難物処理経費31,809千円(対前年度△1,911千円・△5.7%減)、最終処分場等の借地料34,139千円(対前年度、増減なし)及び本郷老人福祉センター・高座施設組合屋内温水プール指定管理料118,062千円(対前年度529千円・0.5%増)となります。

物件費が減額した理由は、前年度において焼却灰積込作業で使用する重機修理完了に伴い車両修繕3,593千円(対前年度△37,885千円・△91.3%減)と減額したためです。

維持補修費は867,339千円(対前年度△68,273千円・△7.3%減)となりました。主なものは、ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設及びし尿処理施設等の修繕のほか、本郷老人福祉センター、屋内温水プール修繕です。

また、事務棟空調機の修繕を行いました。

維持補修費が減少した理由は、各廃棄物処理施設について、平成31年度に予定する次期ごみ処理施設使用開始を考慮し、必要最小限の補修項目での執行としているためです。

補助費等は101,570千円(対前年度△1,334千円・△1.3%減)となり、周辺関係団体への負担金、補助金のほか、施設更新に伴い構成市からの派遣職員等に掛かる構成市への交付金が主なものです。

○廃棄物等の搬入概要

平成24年度の構成市全体人口は、342,014名（対前年度986名・0.3%増）となりました。
 ごみ搬入量は、全体で73,989 t（対前年度40 t・0.1%増）となり、内訳としては、可燃物（家庭）57,483 t（対前年度△15 t・△0.03%減）、可燃物（事業系）13,656 t（対前年度164 t・1.2%増）、不燃物1,602 t（対前年度△88 t・△5.2%減）、粗大ごみ1,248 t（対前年度△21 t・△1.7%減）となりました。
 なお、粗大ごみ処理施設に搬入された不燃物等から不燃物総搬入量の7.3%相当する209 t（対前年度△19 t・△8.3%減）の磁性物等が資源化物として回収されました。
 し尿搬入量は、全体で13,808kl（対前年度△540kl・△3.8%減）が搬入され、内訳としては、生し尿2,804kl（対前年度△215kl・△7.1%減）、浄化汚泥11,004kl（対前年度△325kl・△2.9%減）となりました。

◎構成市の人口

区分	平成24年度	平成23年度	増減	伸率
海老名市	128,470名	128,123名	347名	0.3%
座間市	129,840名	129,493名	347名	0.3%
綾瀬市	83,704名	83,412名	292名	0.4%
計	342,014名	341,028名	986名	0.3%

◎ごみ搬入状況

区分	平成24年度	平成23年度	増減	伸率
可燃物	57,483t	57,498t	△15t	△0.0%
不燃物	1,602t	1,690t	△88t	△5.2%
粗大	1,248t	1,269t	△21t	△1.7%
事業系	13,656t	13,492t	164t	1.2%
計	73,989t	73,949t	40t	0.1%

◎し尿搬入状況

区分	平成24年度	平成23年度	増減	伸率
生し尿	2,804 k l	3,019 k l	△215 k l	△7.1%
浄化汚泥	11,004 k l	11,329 k l	△325 k l	△2.9%
計	13,808 k l	14,348 k l	△540 k l	△3.8%

○付帯施設の利用概要

平成18年度に指定管理者制度を導入した本郷老人福祉センター及び高座施設組合屋内温水プールは、平成23年度から指定管理者の更新をしています。
 平成24年度の本郷老人福祉センターの利用状況は、7,768名（対前年度1,489名・23.7%増）となり、内訳は、海老名市4,665名、座間市1,442名、綾瀬市1,661名となりました。
 利用者が増加している理由としては、前年度、東日本大震災発生後、被災者受け入れ施設の準備等により平成23年4月を全日閉館としたことによります。
 屋内温水プールは139,351名（対前年度3,083名・2.3%増）となりました。
 利用者が増加している理由としては、高齢者助成事業による利用者が20,079名となり前年度に対し2,986名増加していることによるものです。
 なお、平成5年度に開館した屋内温水プール利用者累計は、平成25年3月末日現在で2,538,619名（男性1,284,407名：女性1,254,212名）となりました。

◎本郷荘利用状況

		平成24年度		平成23年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	2,387名	153件	1,872名	131件	515名	27.5%
	女性	2,278名		1,804名		474名	26.3%
	計	4,665名		3,676名		989名	26.9%
座間市	男性	565名	51件	504名	50件	61名	12.1%
	女性	877名		806名		71名	8.8%
	計	1,442名		1,310名		132名	10.1%
綾瀬市	男性	693名	49件	489名	44件	204名	41.7%
	女性	968名		804名		164名	20.4%
	計	1,661名		1,293名		368名	28.5%
合計	男性	3,645名	253件	2,865名	225件	780名	27.2%
	女性	4,123名		3,414名		709名	20.8%
	計	7,768名		6,279名		1,489名	23.7%

◎温水プール利用状況

区分	平成24年度	平成23年度	増減	伸率
男性	72,751名	71,705名	1,046名	1.5%
女性	66,600名	64,563名	2,037名	3.2%
計	139,351名	136,268名	3,083名	2.3%

平成25年度執行状況(25年9月30日現在)

歳入 (単位：千円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	2,746,382	1,325,123	48.2%
2. 使用料及び手数料	438,039	150,424	34.3%
3. 国庫支出金	265,220	0	0.0%
4. 県支出金	12,300	0	0.0%
5. 繰越金	250,000	509,295	203.7%
6. 諸収入	963	287	29.8%
7. 組合債	361,100	0	0.0%
歳入合計	4,074,004	1,985,129	48.7%

歳出 (単位：千円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,333	462	34.7%
2. 総務費	608,674	103,746	17.0%
3. 民生費	25,000	8,459	33.8%
4. 衛生費	3,154,509	746,901	23.7%
5. 教育費	132,083	40,675	30.8%
6. 公債費	142,405	71,102	49.9%
7. 予備費	10,000	0	0.0%
歳出合計	4,074,004	971,345	23.8%

平成25年度高座清掃施設組合の当初予算は、40億7,382万1千円でしたが、補正予算(第1号)を加え40億7,400万4千円となりました。

一般会計歳入歳出予算の平成25年9月30日現在の執行状況については、歳入予算が予算現額に対し収入率48.7%・19億8,512万9千となっています。

9月末において執行率が低いものの主な理由としては、し尿処理施設建設工事に係る国庫補助金、県補助金等の特定財源です。これらの特定財源は、年度末において、実績報告等の手続き後、入金される予定です。

歳出予算の予算現額に対する平成25年9月30日現在の執行状況は、23.8%・9億7,134万5千円となっています。

9月末において執行率が低い主な理由としては、既設ごみ、し尿処理施設の施設修繕料及び次期し尿処理施設建設に伴う工事等の契約期間が年度末までとなっている契約案件が多いため、負担行為済額は、対予算現額52.5%・2,138,320千円となっています。

財産などの状況

組合債現在高 (単位：千円)

区分	平成25年3月31日	平成25年4月1日～平成25年9月30日		平成25年9月30日
	現在高	借入額	元金償還額	現在高
ごみ処理施設	369,563	0	72,912	296,651
し尿処理施設	0	84,900	2,709	82,191
厚生福祉施設	0	0	0	0
計	369,563	84,900	75,621	378,842

平成24年度をもって、平成4年度に借入れた、屋内温水プール建設事業に伴う起債及び県貸付金の償還は完了しました。

平成14年度に借入れた焼却灰等積替え保管施設建設(郵便貯金資金)も平成24年度に償還完了しましたが、最終償還日が平成25年4月1日となったため、平成25年3月31日現在高に当該償還残額6,420千円を含んでいます。そのため、平成25年4月1日から9月30日の元金償還額にも当該元金償還額を含め記載しています。

なお、3月31日現在の借入れ件数は4件となりますが、平成24年度に借り入れた、し尿処理施設建設工事に伴う起債について、借入日が平成25年4月24日のため、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの借入額として記載しています。

財産(平成25年9月30日現在) (単位：㎡)

区分	土地	建物
清掃処理場	56,532.61	14,768.00
本郷老人福祉センター	2,527.78	779.09
埋立処分地	4,485.01	453.23
計	63,545.40	16,000.32

平成25年9月30日までの期間における組合所有財産(土地及び建物)については、変動はありませんでした。

今後については、施設更新に伴い変動が想定されます。